

地域密着型金融の取り組み状況（平成27年4月～平成28年3月）

【地域密着型金融の取り組み状況】

当組合は、地域密着型金融の推進を恒久的な取り組みとして捉え、「フットワーク」と「フェイス・トゥ・フェイス」を重視した営業活動により培われたお客さまとの信頼関係を大切に、これまで蓄積した情報やニーズを活かした金融サービスの提供に努めています。今後も本来業務である預金と貸出金に特化したシンプルな経営方針のもと、「地元の金は地元で活かす」をモットーに、中小企業の金融円滑化等を通じて地方創生に取り組んでまいります。

地域密着型金融の具体的な取り組み項目

- (1) お客さまの創業・新事業・成長段階・経営改善支援・事業再生・事業承継の支援強化への取り組み
- (2) 担保・保証に過度に依存しない融資（中小企業に適した資金供給）への取り組み
- (3) 地域経済活性化への積極的な参画

コア業務純益、自己資本比率、不良債権比率等の主要数値目標を掲げ、「地域密着型金融の具体的な取り組み項目」について積極的に推進しています。また、具体的な取り組みの進捗状況について、当組合のホームページやディスクロージャー誌上で公表しています。

当組合は「お客さま第一主義」の経営を実践していくために、お客さまのご意見を経営に反映するための「顧客満足度アンケート」を毎年実施し、店舗リニューアルやATMコーナーのサービス拡充などを進めてまいりましたが、今後も、お客さまの利便性向上への取り組みを継続して行ってまいります。

【平成27年度地域密着型金融推進数値目標と実績】

「中期3か年経営計画」に基づいて地域密着型金融推進計画の主要数値目標として掲げ、全職員に周知した上で推進した結果の実績は下記の通りです。

項 目	前期（63期）実績	今期（64期）目標	今期（64期）実績	対前期比
コア業務純益	80億51百万円	82億50百万円	82億73百万円	2億22百万円
自己資本比率	10.15%	10.40%	10.11%	△0.04P
不良債権比率	2.16%	2.00%	2.40%	0.24P

項 目	取組内容	平成27年度推進状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化		
創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金への参画 ・広島県中小企業支援ネットワークのパートナー金融機関としての参画 ・よろず支援拠点との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ① 公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金に平成19年度から参画し、役員と審査員の派遣と運用財産の拠出を行っています。 ② 平成24年11月に「経営革新等支援機関」の認定を受け、創業支援や新事業支援への取り組みを積極的に行っています。 ③ 中小企業者等への経営支援機能（経営改善サポート）を補完・強化するため地域密着型金融の取り組みとして広島県中小企業支援ネットワークに参画しています。 ④ 相談先に悩む中小企業等の相談窓口として、適切な支援機関の紹介や、支援機関において対応が困難な相談案件への対応等を実施する「よろず支援拠点」と連携して、支援体制の強化に努めています。
成長段階支援	<ul style="list-style-type: none"> ・成長事業への支援としての取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ① 成長事業の支援として「太陽光発電関連融資」「アグリ・農林事業者向け融資」「高齢者向け賃貸住宅・介護（医療）設備資金融資」等に取り組んでいます。
経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援先を選定し、経営支援プロジェクトと営業店が一体となったお客さまの経営改善支援 ・専門家派遣による経営改善の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ① 経営支援先として374先を選定し、経営支援プロジェクトと営業店が一体となってお客さまの経営支援に取り組んでおり、平成27年度は6先がランクアップしました。 ① 広島県内の専門家派遣事業を推進して、お取引先の経営改善・経営課題等の解決に積極的に取り組んでいます。
事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県中小企業再生支援協議会等、他機関との連携による事業再生 ・「中小企業金融円滑化法」終了後の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ① 現在21先のお客さまが「広島県中小企業再生支援協議会」と連携し、事業再生に取り組んでおられます。 ② 平成24年5月に建設企業の経営革新等を推進することを目的として「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に加盟しました。 ③ 県内中小企業者の経営改善サポートを強化するために設置され、定期的開催される広島県中小企業支援ネットワーク会議に出席し、中小企業者のお客さまに対しての支援強化を推進しています。 ④ 広島県内企業の活性化に寄与すると判断し、平成23年5月「ひろしまイノベーション推進機構」からの要請を受け官民ファンドへ出資しています。また、平成24年12月に広島県内の企業の事業再生を目的とした「せとみらいファンド」に出資しています。 ① 中小企業金融円滑化法は平成25年3月末で終了しましたが、貸付条件の変更等や円滑な資金供給といったご要望に、引き続ききめ細やかな対応を継続する中でコンサルティング機能の一層の発揮等による経営支援の強化に取り組んでいます。また、定期的かつ継続した訪問活動等によりお客さまとの信頼関係を築くことで、経営課題等の相談に親身になって取り組んでいます。 ② 中小企業金融円滑化法終了後の事業活性化を支援する取り組み商品として、平成25年5月に「事業活性化支援ローン」の取扱いを開始し、平成28年3月末の利用実績は915件の12,713百万円となりました。

項 目	取組内容	平成27年度推進状況
事業承継	「シシンヨービジネスクラブ」等を活用した事業承継の支援	① 毎期ビジネスクラブセミナーを開催し、平成28年3月は「中小企業の後継体制づくり」をテーマに80名が聴講しました。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
担保・保証に過度に依存しない融資などへの取り組み	・キャッシュフローを重視し、過度に担保・保証人に依存しない融資商品である「ビジネスカードローン」、「スーパービジネスローン」「ゆとりカードローン」などの継続推進およびABLの活用	<p>① 平成15年から、キャッシュフローを重視し、過度に担保・保証人に依存しない融資商品である「ビジネスカードローン」、「スーパービジネスローン」、「パーソナルカードローン」、商工会議所との提携ローンを取扱い、平成28年3月末利用実績は4商品合計で4,030件の28,726百万円となりました。(平成22年2月取扱い開始のビジネスローン・パーソナルカードローンⅡ型を含みます)</p> <p>また、平成24年12月に「ゆとりカードローン」の取扱いを開始し、平成28年3月末の利用実績は1,400件の3,694百万円となりました。</p> <p>② 平成22年8月からお使いみち自由で事業性資金・借り換えも可能なフリーローン「快速アシスト」の取扱いを開始しました。平成28年3月末の利用実績は559件の308百万円となりました。</p> <p>③ ABL(動産・売掛金担保融資)の活用を行っています。</p> <p>④ 平成26年2月1日より適用開始となった「経営者保証に関するガイドライン」について、適切な対応を行っています。</p> <p>⑤ 平成26年8月に発生した広島土砂災害の被災者を対象とした「シシンヨー災害復旧事業者ローン」および「シシンヨー災害復旧ローン」を取扱いました。平成28年3月末の利用実績は44件の304百万円となりました。</p>
企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力など、人材育成への取り組み	・企業の将来性、技術力を的確に評価できる目利き能力の向上のため各種研修参加による人材育成への積極的な取り組み	<p>① 中国ブロック信用組合協議会等が主催する次の研修に参加しました</p> <p>リスク管理研修 (平成27年5月 4名)</p> <p>渉外管理者レベルアップ研修 (平成27年6月 3名)</p> <p>融資目利き育成研修 (平成27年7月 7名)</p> <p>融資査定診断士育成研修 (平成27年10月 2名)</p> <p>企業支援ランクアップ研修 (平成27年11月 2名)</p> <p>企業再生支援研修 (平成28年1月 4名)</p> <p>② 平成27年9月に中小企業再生支援全国本部と広島県中小企業再生支援協議会から6名の講師を迎え、経営改善計画策定勉強会を開催しました。</p> <p>③ ABLの積極的な活用をはかるため、NPO法人日本動産鑑定が認定する動産評価アドバイザーの養成認定講座に参加しています。</p> <p>④ 保証会社の担当者を講師に住宅ローン勉強会を営業店単位で開催し、スキルアップに取り組んでいます。</p>

項 目	取組内容	平成27年度推進状況
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
地域活性化につながる多様なサービスの提供	・利用者満足度アンケート調査の意見を反映した取り組み	① 顧客満足度の向上に向けた第10回アンケート調査を平成27年1月に実施、平成27年6月にディスクロージャー誌およびホームページ上で回答の分析結果を公表しました。 ② 利用者満足度の向上に向けたアンケート調査の意見を反映し、ATM365日稼働やATM増設を行いました。インターネットバンキングではセキュリティーを強化するワンタイムパスワードを導入しました。
	地域の活性化につながる各種取り組み（地域貢献、環境問題、金融教育、多重債務者問題等）	① 平成27年6月、広島市主催の散乱ゴミ追放キャンペーン「ごみゼロ・クリーンウォーク」に参加しました。 ② 平成27年度の職場体験学習は、中学生7名と高校生4名を6店舗で受け入れ、金融機関の業務について体験していただきました。 ③ 平成27年9月、広島経済大学、広島修道大学、安田女子大学、比治山大学、広島国際大学からのインターンシップ研修として10名の学生を受け入れ、金融業務を体験していただきました。 ④ 平成27年6月、中国財務局の「債務相談」チラシを営業店へ備え置き、広報しました。あわせて中小企業庁の「下請けかけこみ寺」も広報しました。 ⑤ 多重債務者対策本部等が主催する多重債務者相談強化キャンペーン（平成27年9月～12月）に協力し、チラシ、リーフレットで広報しました。 ⑥ 金融庁・中国財務局主催の「金融トラブルから身を守るためのシンポジウム」（平成28年2月）ポスターを掲示し、広報に協力しました。 ⑦ 9月3日の「しんくみの日」に献血運動を実施、役職員および近隣にお勤めの方々計76名が献血に参加しました。 ⑧ 地域貢献の一環として平成27年5月マツダスタジアムで開かれたプロ野球「広島東洋カープ×読売ジャイアンツ」戦のスポンサード・ゲームを開催し、役職員とその家族等を招待しました。 ⑨ 平成27年11月、理事長が中小企業大学校東京校に講師に招かれ「地域経済活性化のために期待される金融機関の新たな役割」をテーマに講演しました。 ⑩ ビジネスマッチングを取引先に紹介し、次のマッチングに参加しました。 2015しんくみ食のビジネスマッチング展（平成27年11月、東京） 第1回しんくみビジネスマッチング（平成27年11月、岡山） 信用組合年金旅行等ビジネス交流会（平成27年11月・12月、東京・広島）
	大学教育を通じて、地域社会と中小企業金融の発展、ならびに、教育支援や人材育成に貢献する取り組み	① 平成27年4月、当組合理事長が広島修道大学の特別客員教授に再任されました。 ② 平成21年度からの取り組みである産学連携は、平成27年度も継続して実施しています。理事長が6月に広島修道大学、7月に広島経済大学で「地域金融の重要性と信用組合の役割」について講義を行いました。